

どんな学校に進学
すればいいんだろう

慣れ親しんだ
小児診療科から
移るのが不安…

妊娠・出産が不安…

将来の仕事は
どうしよう…

自分を診てくれる
成人医療機関はどこ??

同じ悩みを
抱える方と
交流したい

自立に向けて

自身の病気と付き合い、自分らしく生きていくためには、
自分の病気や治療を理解していく必要があります。
自立を進めていく中で迎える進学・就労・結婚等のライ
フイベントごとのお悩み・疑問についてもかながわ移行期
医療支援センターにお気軽にご相談ください。

一歩ずつ



ひとつずつ

移行期医療に関する
お悩み・困りごとについて
お気軽にご相談ください!



かながわ移行期医療支援センター

〒221-0835

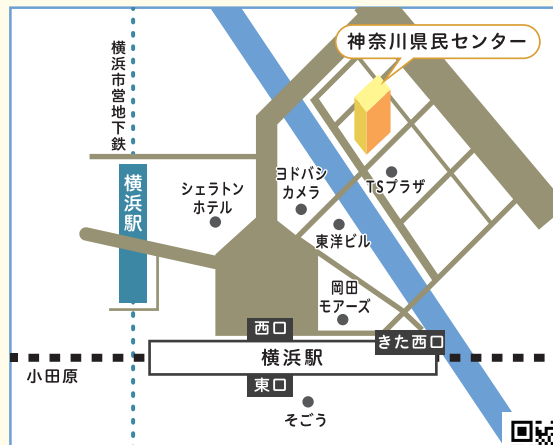
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター14階

☎ 045-312-1121 (内線 3402)
10時から17時 (月～金曜日の平日)

<https://www.kanagawa-nanbyo.com/>



アクセス



「横浜駅」西口・きた西口から徒歩およそ5分



小児期医療から 成人期医療へ



かながわ移行期医療支援センター
神奈川県

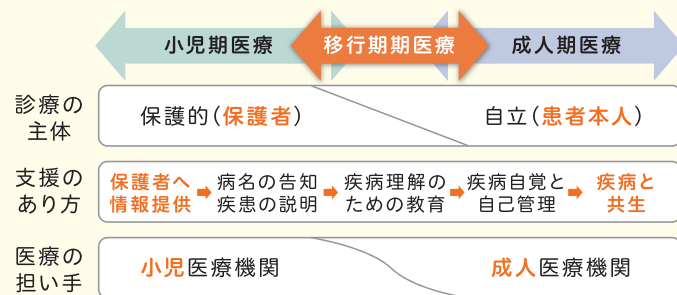
移行期医療とは

子どもから大人へ成長する中で、子どもの時とは違う治療が必要になる場合があります。患者さんが成長に応じた適切な医療を受けることができるよう、小児期医療から成人期医療への移行の橋渡しを行うことを移行期医療といいます。

成人期医療への移行について

生活習慣病や成人がんなど成人期特有の病気が発症、併発した場合、小児診療科では対応が難しい場合があります。自身にとって最適な医療を受けるためには、自身の病気や状況を踏まえ、成人期医療へ移る準備を進めていくことが大切です。

※患者さんの状況によっては、成人診療科と小児診療科の両方を併診するパターンや成人診療科に移らず小児診療科の受診を継続するパターンもあります



自立に向けた成長ステップ例

自立までの課程や速度は患者さんの状況によって異なります。結果に関わらず、チャレンジしようと行動したことを喜びましょう。その中で、できたことに目を向けて、小さな成長を喜びましょう。

自分の病名が言える

自分の病状・治療内容が理解できる

自分で薬を管理できる

体調が悪くなった時の対応ができる

ひとりで診療を受けることができる

治療について自分で情報を集めることができる

自分の病気について友人や恋人に説明できる

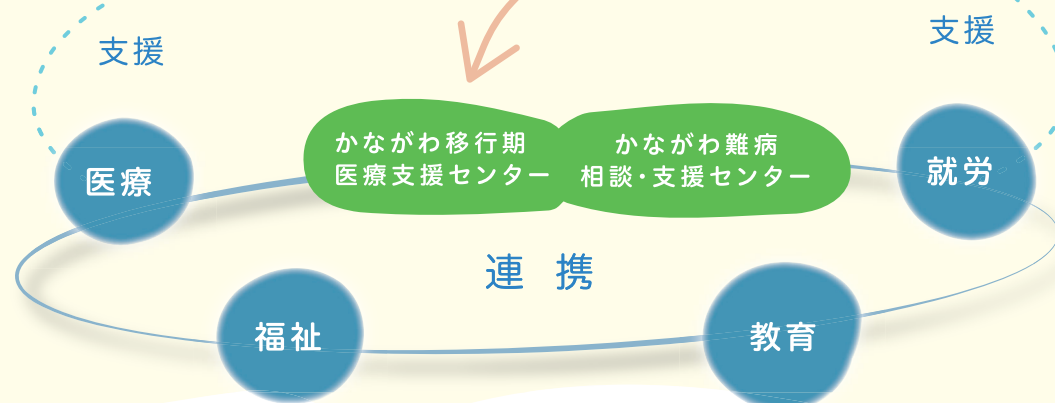
将来の仕事や生活についてイメージできる

自分に合った治療・医療機関を選ぶことができる



かながわ移行期医療支援センターのご案内

患者さんが、大人になっても切れ目のない治療・支援を受けることができるよう移行期医療をサポートします。かかっている医療機関を問わず、移行期医療に係るお悩み・疑問等をお受けしますのでお気軽にご相談ください。



相談支援

- 移行期医療支援センター内には、神奈川県内の難病を抱える患者さんの支援を行う難病相談支援センターが併設されています。
- 移行期医療支援コーディネーターが難病相談支援センターと連携して、移行期医療に係る様々な相談・困りごとの支援を行います。

移行期医療支援体制の構築

- 患者さんがスムーズな移行期医療を行うことができるよう小児・成人医療機関間の連携支援を行います。
- 患者さんが必要な支援を受けることができるよう福祉、教育、就労等の包括的な支援体制の構築に努めます。